

3年ぶりに植樹

会報

モンゴル



VOL 69 2019. 9. 10

●発行者 中山 喜重
●発行所 長野県モンゴル親善協会
長野市県町532-3



団長 波田野 哲夫

1990年7月に長野県モンゴル親善協会が設立され、来年30周年を迎える節目の年に、第27次「モンゴル国植林交流団」の団長として同行させていただきました。

私にとって今回のモンゴル国への訪問は3回目の旅でありましたが、その変貌に愕然としました。

1回目の訪問は1997年、今でも思い出しますが、黙々と黒い煙を上げる工場と、それにそそぐ川の汚れ、そして、道沿いにある幾つものゴミの山で、大人から子どもまでがお金になる金属を拾い集めている風景。いわゆるマンホールチルドレンと言われていた時代でした。

あれから22年、訪問してわかったことは、以前の遊牧生活から市場経済国への移行であります。

予想をはるかに上回る車の多さと、近代的デパートや構想ビル、アパートが林立するウランバートル。

そして、当時はなかった郊外にゲル地区が長々と広がる風景。明らかに貧困の差を感じさせられました。

一方、食べ物の品種や種類の多さと料理

の豊富さ…。

しかし、忘れてはならないのが今回の目的である植林の継続であります。

今や草原や森林が半砂漠と化し、自然環境が安易な観光資源として開発され、今まであまり見られなかったネズミが繁殖し、あらゆる所にネズミの穴が点々としてある風景を目にすると、さらなる砂漠化が心配されます。

しかし、希望に満ちた学生3人に合いました。帰りの飛行機の中で、私の隣に席をい合わせた学生が、「新モンゴル高校」の5年生でした。

話しを聞くと、これから豊橋市にある「豊橋技術大学(国立)」に1年間留学するための面談に行くとのことでした。

モンゴル国で遅れている鉄道や水道、電気、道路などのインフラストラクチャーをめざすとのことで、頼もしく感じました。

最後に、少人数ではありませんでしたが、今回の訪問団に参加いただきました団員の方々に感謝するとともに、「再開できる日が来ることを願っております。バイラルー」

第27次モンゴル国植林交流団

2019年5月24日(金)～5月29日(水)

■団長

波田野 哲夫 協会事務局長

■団員

井村 泰隆 自治労原本部前執行

寺島 守 小室節保存会

中村 喜嗣郎 上田市在住

栗林 昌枝 長野市在住

峯村理恵子 協会事務局

委員

行動記録(抜粋)

5月24日(金)

奇跡の再開

11 : 40 成田空港第1ターミナル南ウイング4階「I」カウンター付近で団員の皆さんと合流したところ、14 : 40 発の予定が、15 : 15 発に変更になっているとのこと。

第26次団のように8時間遅れにならないと良いのですが…。

12 : 10 チェックインの後、5階のフードコートで食事を済ませて、手荷物検査へ。

15 : 57 出発予定時刻が近づいても搭乗案内がなかったが、ようやく乗り込んで出発。
(ここからモンゴル時間)



リニューアルされたチンギスハーン国際空港

19 : 47

リニューアルで綺麗になったチンギスハーン国際空港に到着。

20 : 24 第26次団でもお世話になったツオクトさんが出迎えてくれた。

その後、駐車場で今回のガイドと合流したのだが、そのガイドが以前信大の留学生で当協会の活動にも協力していただいていたバドさんと、団員の栗林さんと再会を喜んでいた。

22 : 19 ウランバートルは以前にも増して渋滞がひどく、約2時間かかって「フラワーホテル」に到着。

5月25日(土)

10 : 10 キャンプ地のドウガナハドへ 迎えの車2台に乗り込み、本日の宿泊地であるドウガナハド・ツーリストキャンプ場へ向けて出発。

11 : 16 途中のノミン(スーパーマーケット)でキャンプ滞在中に必要な飲み物などの買い出し。
ここまでは渋滞だったが、買い出しを終えて少し走り、草原に出た途端に渋滞が解消された。

14 : 00 途中から悪路を走



ドウガナハド・ツーリストキャンプ

21 : 00 快調。

暗くなってきたので、星を親に外に出て見るのだが、雲があつたり、周りの電気で明るかったりと、長野の星空に勝る程にはならなかった。

15 : 30 乗馬体験。乗馬をされない井村さんに乗馬中の写真を撮っていただいた。感謝！
最初は思い通りに進んでくれなかったが、時間が経つにつれて馬も人も慣れてきたのか、お尻が痛くなってきた頃には何となく思う方向に進んでくれるようになった。

17 : 00 乗馬の後、夕食を挟んで断続的に団長のゲルで懇親会。昔はなかったが、今は電球がゲルを照らしてくれ、20時過ぎにはストーブに火を付けに来てくれたので、ゲルの中は



5月26日(日)

トングリ村で植樹活動
古都カラコルムへ

6 : 30 朝食。

7 : 30 今日目的地である「トングリ村」へ向けて出発。途中、1回草原で休憩。

10 : 20 「トングリ村」で植樹活動をしているガンバさんの自宅兼教会に到着。
ミルクティーをいただきながら、地球緑化クラブの現地スタッフのチヨウさんに植樹に関する説明を聞き、植樹用のカラマツ・シベ



育苗施設の見学

リア松などの育苗施設（ビニールハウスのような施設）を見学。
 前回、「来年は種から苗を育てる」とのことだったが、その種から育てたシベリア松150本を植林すること。



穴を掘り、苗木を植えていく

11:00 車で植樹場所の山へ移動し、植樹活動を開始。以前植樹したが定着しなかった部分に補植していく。
 スコップで穴を掘る人、苗を植える人の2人1組になり、1時間ほどで植林終了。
 ガンバさんの家に寄り、ツーリストキャンプから持って来たケーターリングの昼食をとる。
 悪路を走るので、長めに食後の休憩を取ってから出発。クラクションを鳴らして、道にいる馬や羊にどいてもらいつつ

つ走り、途中の草原でトイレ休憩。
 16:00 バトステレレ村で舗装道路に出、途中2回ほど休憩。
 20:30 トングリ村から7時間。カラコルムのKHKHOTEL（イルコラムホテル）に到着。超高級ホテルの様相。部屋に荷物を置いてから、レストランへ。
 21:20 長旅の疲れを癒すため、早目に就寝。

5月27日(月)
 世界遺産「エルデニゾー寺院」見学

8:00 朝食。
 9:20 ホテルを出発して5分もせず、モンゴル最古のチベット仏教寺院「エルデニゾー」に到着。建物1つ1つに入って仏絵などを見学。



チベット仏教寺院「エルデニゾー」

10:55 車に乗って5分もせず、エルデニゾー内にあるカラコルム博物館に到着。日本のODAによつて建設されたとのこと。



11:50 ウランバートル市へ向けて出発。途中オボの所で休憩。
 13:00 道沿いの食堂で昼食。



14:10 食堂を出て10分ほどでエルスタサルハイ砂漠に到着。
 入口には、ラクダがいつばいお客さん待っていたが、空港などに「ラクダなどに接触しない」というポスターが貼つてあったことを思い出して、20分ほど砂漠を散策。

17:40 途中、スーパリーに寄つてトイレ休憩などして走つてきたが、突然車から煙が…。車を停めて、休憩。



車は大丈夫か！

18:45 ウランバートル市内は相変わらずの渋滞。
 20:20 フラワーホテルに到着し、ホテル内の日本食レストランで夕食。

5月27日(火)

ウランバートル市内観光
 7:00 朝食。
 8:10 市内にある「ガンダン寺」に向けて出発。
 8:43 「ガンダン寺」を見学。



ガンダン寺

10:00 第23次交流団(2012)年で植樹した「新モンゴル高校」を訪問し、その後の生育状況を確認。



「新モンゴル高校」(右)と「第55学校」で以前植樹したした樹木の生育状況を確認

50 cm程の苗が、2 m程に成長しているのを確認した。その後、キャリア開発セン



11 : 20 ター長の今井氏から「新モンゴル高校」について説明を受けた。30分程の滞在。入口が変わってしまつて迷いながらも、第25次交流団(2014)年が植樹した「第55学校」に到着。植樹した樹木の生育状況を確認。

12 : 00 校舎の窓からの視界を遮つてしまつたためか、上部が切られている木もあったが、切られるほど成長したということである。隣に新校舎を建設中で、植林した部分は残るのかどうか。

市内の中華レストランで昼食。

14 : 00 「ノミン・デパート」でお土産などのショッピング。

14 : 50 「ノミン・デパート」から徒歩でフェルト製品のお店に行き、ショッピング。

15 : 10 メルクリ市場やカシミア製品のお店に行き、ショッピング。

18 : 00 民族舞踏コンサートを鑑賞。

20 : 15 ホテルのレストランで夕食。

21 : 00 明日の帰国に備えて各自準備に追われた。

5月28日(水)
日本へ向けて

5 : 40 チェックアウトの行列ができており、20分程並んでようやくチェックアウト。

5 : 50 朝食BOXができていなかったため、できるのを待つてホテルを出発。

6 : 15 チンギスハーン国際空港に到着。

7 : 40 税関を通過後、お土産売り場で最後の買い物。
チンギスハーン国際空港を出発。一路日本へ。

13 : 13 成田空港に到着。訪問団を解散し、各々帰路へ。
「お疲れ様でした！」

※8月29日に事務局・交流団合同による報告会を開催しました。

おお! 地球人ワールドフェスタin長野



写真は昨年11月開催の協会のブース。

協会では、長野市で毎年開催されている国際交流イベント「おお!地球人ワールドフェスタinながの」に参加し、モンゴルの民族衣装や馬頭琴などを展示。
岩塩やフェルトのスリッパ、キーホルダーなどの小物の展示・販売などを行い、モンゴル文化の紹介活動を行っている。

モンゴル国際交流協会

事務所 〒380-0000

長野市東町5302-3 労働会館内

TEL/FAX

0260-6340-017

<http://w2avis.jp/mongol>

事務局は非常勤となっております。お問い合わせは留守番電話かFAXでお願いします。